

マイカ基板上の金(Au)蒸着膜 AU25M

単分子膜などの走査型プローブ顕微鏡での 観測用の基板として最適なAu蒸着膜

本製品は、へき開した天然マイカを真空中で加熱し、その上に金を300nm程度堆積させた基板です。水素炎あるいはブタンガス炎などで大気中に適切に加熱することにより、平滑な金の(111)面を形成させることができ、分子などを吸着させてSTM観察などを行う基板としてご活用できます。



典型的なSTM像



ヘリングボーン構造



標準サイズの価格 2019年2月時点

1枚 20,000円(税別)

- ※1 商品の端にピンセットつかみしろがあります。25x25mm全面使用できるわけではない事、あらかじめご了承ください。
- ※2 本製品は天然マイカを基板として使用しており、表面に若干のマイカ固有のしわや、段差が生じております。あらかじめご了承ください。

特長

簡単な処理で、大気圧中で安定かつ方位や平滑なテラスが揃った表面構造を作製可能

用途

- ・Au(111)のヘリングボーン構造や原子像STM観察用試料用として
- ・平坦なテラス上に分子を吸着させ、その分子を観察していくための基板用として

マイカ基板サイズ	25×25mm (標準)
金(Au)膜厚	300nm

熱処理について

- ・Au(111)に方位がそろった金表面を得るため使用前にお客様にて大気中で水素炎またはブタンガス炎により700℃程度で加熱処理をしていただく必要があります。
- ・加熱後の表面はAu(111)に特徴的なヘリングボーン構造を伴い、平均的には150×150nmの原子レベルで平滑なテラスを有しています。

※仕様・外観などは予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。